

令和6年度トップアスリート（オリンピック・パラリンピアン）派遣事業計画書

学校名：境港市立余子小学校

1 ねらい

- ・三上紗也可選手のお話を聞き、目標に向かって計画を立て、あきらめず努力する大切さを知る。
- ・三上紗也可選手の実技指導を通して、基本的な体の動かし方や動く楽しさを感じる。

2 日 時 令和6年12月2日（月） 13時50分から15時25分まで

3 講 師 三上 紗也可 氏 安田 千万樹 氏

4 対 象 1～6年生児童（260名）

5 日 程

時間	内容	対象学年	場所
13:50～14:25	・全日本選手権や世界選手権、オリンピックに向けて、どのように目標設定し努力を重ねたか。 ・望む結果が出ない時に、どのように気持ちを切り替え、次のステップに向かったか。 ・飛び込みをやっていてよかったこと。 ・三上選手の強さの秘訣。 など、子ども達に講演をしていただく。	1～6年	体育館
14:30～15:25	・三上選手が普段行っている準備運動や基本運動、柔軟体操、マット運動などを、5・6年生向けの内容にしていただき、実技指導をしていただく。	5・6年	体育館

6 担当者

三村 大輔

7 その他

本校の児童は自分に自信がなく、自分の可能性を信じて努力したり、あきらめずに最後までやり切ったりすることを苦手とする姿が多く見られる。三上選手の成功体験はもちろん、どのように目標を設定してどのように努力したのか、失敗体験をどのように乗り越えたのか、手法だけでなくその根本の生き方などを三上選手本人から、また、可能であれば安田コーチからお聞きすることで、児童が自分の可能性を広げ、成長への一歩を踏み出す気持ちを持てるようになってほしい。

令和6年度鳥取県トップアスリート（オリンピック・パラリンピアン）派遣事業
事業実施報告書

学 校 名	境港市立余子小学校
記載責任者	三村 大輔
事業結果概要 東京・パリオリンピック女子板飛び込み日本代表、三上紗也可選手、安田千万樹コーチを招いて、講演と実技をしていただいた。 5校時 講演 演題「失敗を恐れない挑戦」 オリンピックに向けて、未来計画書を用いて、将来の目標と現在やるべきことを設定したこと、失敗を恐れず挑戦するために、周りへの感謝、自分との約束、過程を大切にすること、そして児童へのメッセージとして、挑戦、継続、失敗を恐れないこと、楽しむことを伝えていただいた。 6校時 実技 ストレッチの重要性と実施、リズム運動、マット運動の基礎的な運動（前転、後転）のコツを教えていただいた。	※児童生徒の変容、成果と課題等を記載。 ※交流の様子や掲示物等の写真の添付もお願いします。 （写真はホームページ等で掲載可能なもの） 講演では、普段、集中して話を聞きにくい児童も、興味を持って話を聞いていた。常にトップだと思っていた三上選手が、実は最下位になったこともあり、そこから努力を重ねて結果を出したことや、怪我や失敗を恐れず、自分を信じて練習に取り組む様子に感銘を受けている児童が多くいたようである。 特に高学年では、「毎日信じる」「自分との約束を守る」「失敗を恐れない挑戦」といったキーワードが印象的であり、今後の自分の生活や学習、スポーツなどにおいてその姿勢を忘れないようにしたいという感想を述べていた児童が多くいた。 実技では、基本的な前回り、後ろ回りのコツ、ストレッチやリズム運動を教えていただいた。動きをうまくまねできない児童も多くおり、課題が見えるものであったが、三上選手に直接声をかけていただき、一生懸命取り組む様子が見られた。 